



笛の道を通して笛の資料館へ



笛の資料館に展示されている多彩な笛



笛の資料館での練習風景

DATA・BOARD ⑱

- ① 福井県大野郡和泉村朝日
- ② 面積：約4,000㎡
- ③ JR越美北線九頭竜湖駅から徒歩5分，北陸自動車道福井ICから車で約70分
- ④ 九頭竜湖，和泉前坂家族旅行村オートキャンプ場ほか
- ⑤ フォーラム青葉の笛，ホタルのタペ，笛作り教室



18 歴史の里



和泉村では、伝統文化の継承、文化財・文化遺産の保護を目的に、複合施設による文化ゾーンとして「歴史の里」の整備が行われた。

施設の整備にあたっては、和泉村には青葉の笛にまつわる源義平の悲恋伝説があり、この笛が村内に残されていることから、笛文化をテーマにした施設づくりが行われた。

歴史の里は、笛の資料館、笛の館、郷土資料館、穴馬民俗館から構成されており、これらの施設は笛の道によって結ばれている。

笛の資料館では、伝説の青葉の笛のレプリカをはじめ、篠笛や縄文・弥生時代の土笛、全国の珍しい笛などを展示している。笛の道には、笛の材料となる竹が二十数種類植えられ、人が通るとセンサーが感知して流される笛の音色を耳にしながら、涼しげな風景の中を散策することができる。また、郷土資料館には、縄文土器や化石、日本各地の桜に関する資料が、穴馬民俗館には、民具や民俗資料などが展示されている。

ホタルの明かりのもとでの幻想的な笛の演奏会や笛作り教室などのイベントも開催されており、郷土の歴史と笛に親しむ施設となっている。